

平成 31 年度 (2019 年度) 学校経営計画表

1 学校の現況

学校番号	43	学校名	県立潮来高等学校						課程	全日制		学校長名	飯山 美都子			
教頭名	小澤 茂幸										事務室長名	箕輪 猛				
教職員数	教諭	32	養護教諭	1	常勤講師	6	非常勤講師	6	実習教諭, 実習講師, 実習助手	1	事務職員	2	技術職員等	3	計	54
生徒数	小学科	1年		2年		3年		4年		合計		合計				
		男	女	男	女	男	女	男	女	男	女	クラス数				
	普通科	43	25	47	45	46	28			136	98	8				
	地域ビジネス科	7	9							7	9	1				
	商業科			11	8	17	8			28	16	2				
人間科学科	5	24	5	27	2	25			12	76	3					

2 目指す学校像

人間性豊かな自立した生徒の育成 ～どのような時代であっても一生涯, 自立した人生を歩める人間を育成する～
--

3 現状分析と課題 (数量的な分析を含む。)

項目	現状分析	課題
学習指導	アンケートによると, 意欲的に学習に取り組んでいる生徒は 6 割程度で, 家庭学習 0 分が 55%。計画的に学習する習慣が定着していない。	学習意欲を向上させ, 基礎学力の定着を図るため, より一層の指導の工夫・改善に努める。
進路指導	卒業生の進路決定率は 98% と高いが, 100% をめざしたい。生徒の進路意識の高揚とともに保護者の協力・支援も必要である。	LHR, 総合学習, 個別面談, 就業体験, 進路講話等を通して, 生徒の進路意識の一層の向上を図る。
生徒指導	丁寧に指導の段階を踏むことで, 概ね落ち着いた生活状況にあるが, やや軽率な言動を取る生徒もおり, 規範意識の欠如がみられる。	共通理解のもと, 生徒観察や声掛けを徹底し, 基本的な生活習慣の確立と規範意識の向上をめざす。
特別活動	全国で活躍する部がある一方, 全体の部活動加入率は約 4 割にとどまっている。また学校行事に取り組む自主性に乏しい生徒もいる。	部活動加入率を高め, 学校行事への積極参加を促し, 生徒一人一人の人的成長につなげる。

4 中期的目標

1 基礎学力の定着 ～学習習慣を確立させる～
2 社会を意識した教育 ～ルールやマナーを遵守し品格ある態度を育てる～
3 豊かな人間性と社会性の涵養 ～多様な学校行事や部活動を通して人としての成長を促す～
4 学科や地域の特色を生かした教育 ～学科や地域の特色に応じた活躍の場を創出する～
5 地域や保護者との連携 ～地域に愛され保護者に信頼される学校をめざす～

5 本年度の重点目標

重点項目	重点目標
1 基礎学力の定着	① アクティブ・ラーニング的な指導を研究し、授業改善を図り「わかる授業」の実践に努める。 ② 個の適性・資質・進路希望に応じた学習指導の充実を図り、「確かな学力」を育む。 ③ 授業と課題等を結び付け、自主的・自発的に学習に取り組む姿勢を育てる。 ④ 学習内容を精選し、基礎・基本の徹底と反復を図る。
2 社会を意識したキャリア教育の充実	① 適時に適切な進路行事を実施し、勤労観・職業観を育むとともに社会性を養う。 ② 丁寧な個別面談を通して、社会との関わり方を考えさせ、将来の進路設計を促す。 ③ あらゆる機会をとらえ、生徒とのコミュニケーションを大切に「生きる力」を育てる。
3 豊かな人間性の育成	① 「道徳」の時間を要として学校教育活動全体を通して、「豊かな心」を養う。 ② 登校指導等を通し、生徒との触れ合いのなかで、挨拶の励行や身だしなみの指導を図る。 ③ 学校行事や部活動の充実を図り、忍耐力や思いやり、協調性などを育む。 ④ 常日頃から生徒の心情理解を深めるとともに、問題行動の早期発見・早期解決に努める。
4 学科や地域の特色を生かした教育	① 検定試験や資格取得を推奨し、生徒の活躍の場を創り出す。 ② 地域の行事やボランティアなどに関わる機会を創り出す。
5 信頼される学校づくりの推進	① 保護者や地域との連携を密にし、教育活動への理解と協力を得る。 ② 授業公開や学校新聞・HPを活用し、教育活動の様子を社会に向けて積極的に発信する。

別紙様式 1 (高)